

【1980年1月～12月】 『北海道自治研究』の主な内容

月	号	主な内容
1	132	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 「自治」の下部構造 矢島 武 ○ 80年代の地方政治、地方自治を展望する－70年代の回顧と80年代展望の若干の視角－ 十亀昭雄 ○ 北海道開発論序説 照屋 章 ○ 第18年次自治研全道集会レポート エネルギー危機と石炭産業 関 恒昌 ○ 忙中一筆 山嶺の気 小田原要四蔵 ○ 偶感寸楮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬来りなば、春遠からじ 深田義勝 ・ 住民の信頼を得る途 大音師政弘 ・ どう突破口を開くか 金田誠一 ・ 独白勘定吟味役 小山田藤雄 ・ ナナカマドに寄せて 小川公人 ・ 新語・珍語でユーモラス 黒田 弘 ・ 微笑みを売る店 沼田 進 ・ 随想 池島信吉 ○ 散射韻 選挙の敗北をマスコミ報道に責任転嫁するな ○ 亜寒帯 <ul style="list-style-type: none"> ▼「連帯感」漂うところ▼保身に徹すれば……………▼飲み飲み飲むならば……………▼公務員の実像と虚像 ○ 北海道の動き <1979・11・1～30>
2	133	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 明日が欲しい80年 吉村 博 ○ 特集 80年代の中小企業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 80年代における地方自治体の中小企業政策－その方向と課題－ 庄谷邦幸 ・ 座談会 北海道における中小企業の現状と課題 阿部義雄+木村秀忠+松山茂+三好宏一 ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(4) <ul style="list-style-type: none"> 世代はすでに変革の流れの中にある 長谷川正治 ○ 忙中一筆 市民運動とマスコミは健在であれ 萩上元春 ○ 本 昔も今も「住宅貧乏物語」－「ウサギ小屋」からの脱出は可能か－ 清水忠行 ○ 偶感寸楮 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワン・パターンからの脱却 親松貞義 ・ 小さな川 中村喜一 ・ 苦東基地内に活断層 沖田龍児 ・ 行動は野獣のごとく 御園生和義 ・ 木の感触の快適さ 大塚哲郎 ・ 各国の軍隊は自国に戻れ 會川昇一 ○ 散射韻 「エゴ」という前に…………… ○ 亜寒帯 <ul style="list-style-type: none"> ▼「壮大なドラマ」の後味▼胴上げされた市長▼木・パートⅡ▼年末年始所感 ○ 北海道の動き <1979・12・1～31>
3	134	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 政策に直結させよ 新川士郎 ○ 特集 地方財政問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和55年度予算と地方財政計画 和田八束 ・ 資料 昭和55年度地方財政計画(抄) ・ 財政自治権の法理 北野弘久 ○ 論文紹介 許認可事務等の市町村長への「委譲」 辻山幸宣 ○ 忙中一筆 私と原発 吉野之雄 ○ 本 クルマ社会－マイカー公害 清水忠行 ○ 偶感寸楮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 除排雪に想う 桜庭康喜 ・ 俺は農民出身 谷津邦夫 ・ 2月5日は「立春」 佐藤利次 ・ マスコミに特権があるのか 正田 浩 ○ 散射韻 ある夫妻の闘い ○ 亜寒帯 <ul style="list-style-type: none"> ▼桜餅と政権▼十九年間の逆戻り▼関わらない“個人春闘”▼金大中、劉少奇の復権 ○ 北海道の動き <1980・1・1～31>
4	135	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 “石油危機”の教えるもの 松井安信 ○ 80年代における地域福祉施策の課題 近藤倬司 ○ 相乗的行政のすすめ－自治体改革における自治体労働者の課題－ 寄本勝美 ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(5) <ul style="list-style-type: none"> 変革の芽は民衆の中にある－革新自治体を失い失意にある友への手紙－ 五十嵐広三 ○ 忙中一筆 社会党44回大会雑感 青木延男 ○ 本 「道路行政」と「住民エゴ」 清水忠行 ○ 偶感寸楮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民負担増年間2万円！ 富田新一 ・ 辞任と「力」んで見たが 野崎良夫 ○ 散射韻 はやりの半てん ○ 亜寒帯 <ul style="list-style-type: none"> ▼バカがいなけりゃ……………▼記録の精神▼“金は木に剋つ”そして「三金時代」▼ここだけは定年制反対

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道の動き <1980・2・1～28> ○ 『北海道自治研究』総目次 <1979年2月号(第121号)～80年3月号(第134号)> 	
5	136	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 北海道の憲法裁判 ○ 80年代日本経済の展望と労働運動の課題 ○ シンポジウム 80年代の労働運動 ○ ルポ 警察力で議決した札幌市の「料金値上げ」予算案-10万人の市民署名をふみにじった反民主的暴挙 ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(6) 市民は孤独なもの 新境地を拓くために- ○ 忙中一筆 春に想う ○ 本 「自転車」のすすめ ○ 偶感寸楮 ・ 人間を掘り出してほしい ・ 優先するのは市民の権利か守秘義務か ・ 選挙宣伝に思う ○ 散射韻 自然を蘇らせる知床に夢を買う人々 ○ 亜寒帯 ▼いまよう“花咲かじじい”▼政権への現実的模索▼オヤジのウミ▼顔には何がある!! ○ 北海道の動き <1980・3・1～31> 	<p>久田栄正 鎌倉孝夫 宇佐美忠信+岡村恵+楳枝元文+十亀昭雄 岡田義雄 原 清重 清水忠行 永井洋子 伊与部年男 横井のびる</p>
6	137	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 “まさか”的発想の盲点 ○ 農業問題特集 ・ 80年代北海道農業の課題 ・ 「公共」育成牧場を問い直す ○ 資料 道庁行政「改革」の現況 ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(7) 都市デモクラシーを考える ○ 研究所調査会紹介(1) 稚内地方政治経済研究会発足 ○ 忙中一筆 どぶ板議員 ○ 本 エネルギー危機と「まちづくり」 ○ 偶感寸楮 ・ 靖国神社公式参拝之特集してほしい ・ “ここだけは定年制反対”に同感 ・ 連合政権は連立政権とどう違うのか ○ 散射韻 茶番に茶番を重ねれば…… ○ 亜寒帯 ▼「政治の空白」は日常のこと▼ナイデンティティの不安▼飽きることなく▼春の植木市で ○ 北海道の動き <1980・4・1～30> 	<p>十亀昭雄 矢島 武 小堀武信 重野広志 岡本修造 清水忠行 大滝 巖 柄内和男 館川みつえ</p>
7	138	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 薩摩と長州 ○ 「行革」挫折の虚妄と「地方の時代」 ○ 資料紹介 権限「委譲」をめぐる動向(その1) ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(8) 研究会討議 革新自治体の質的变化が要求されている ○ 研究所調査会紹介(2) 旭川地方政治経済調査会発足 ○ 忙中一筆 改めて思う道議会のあり方 ○ 本 「地方の時代」 ○ 散射韻 浮動票の恐さ ○ 亜寒帯 ▼光州市“決起”と“落城”▼サルまねの“目玉”▼悪魔の叫び▼PR・ブックエンド通信 ○ 北海道の動き <1980・5・1～31> 	<p>八町憲一 山内敏雄 編集部 輪島幸雄 清水忠行</p>
8	139	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 生活交通と住民の権利 ○ 衆参ダブル選挙の結果を考える-第35、第36回衆院選および第12回参院選の結果をどうみるか- ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言(9) 地域の民主化に向けて ○ 忙中一筆 労働運動に参加への回顧 ○ 本 「アセスメント条例」は開発へのパスポート? ○ 散射韻 革新の生彩・活力を ○ 亜寒帯 ▼特命大使という置土産▼オオカミとヒツジ▼美人をつくる町▼“田中角栄”にはなりきれない ○ 北海道の動き <1980・6・1～30> 	<p>大内 基 十亀昭雄 中村えつ 樫林 巖 清水忠行</p>
9	140	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 「そこ」からの出発 ○ “古い”と福祉の設計-市民福祉と自治体政策- ○ 年金制度の現状と課題-2010年をめざして年金制度はどう変わろうとしているか- ○ 研究会討論 行政改革を考える-行政、官僚制に見られる戦前戦後の継続性- ○ 資料 「地方の時代」における都市政策に関する提言(要旨) ○ 忙中一筆 結婚祝賀会について ○ 本 都市と自然 ○ 散射韻 ゲームを超えた高校野球 ○ 亜寒帯 ▼警鐘を打つとき▼屋根裏から▼“テキヤ・バクト”的発想▼“ム所外奴隷”所感 ○ 北海道の動き <1980・7・1～31> 	<p>西 勇 小倉襄二 吉田勇治 全国市長会 石井 明 清水忠行</p>

10	141	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 主体性と依存性 ○ 第8回現代地方自治講座・講義 地方自治の可能性 ○ 提案13号前後(その1) ○ 朝鮮民主主義人民共和国を訪ねて(1) ○ 資料 国庫補助金整理合理化に関する具体的改善方策 ○ 本 都市は水に弱い ○ 散射韻 反ソ感情高まる中で ○ 亜寒帯 ▼悪路万才▼ある選挙風景▼便所と深夜▼韓国に救いがあるのか ○ 北海道の動き <1980・8・1～31> 	川村 琢 篠原 一 赤木須留喜 山口哲夫 全国市長会 清水忠行
11	142	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 特命大使と地方自治 ○ 憲法の現状と護憲の意義 ○ 函館湾流域下水道を考える ○ 朝鮮民主主義人民共和国を訪ねて(2) ○ 資料紹介 権限「委譲」をめぐる動向(その2) ○ 散射韻 麻布球場は失策だった ○ 亜寒帯 ▼予防的労働運動を▼民衆憲法の創造▼“神だのみ”の季節▼作法 ○ 北海道の動き <1980・9・1～30> 	舟山廣治 久田栄正 中西準子 山口哲夫 編集部
12	143	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭角鈍角 自治体の革新を目指して ○ 障害者差別と労働組合の課題 ○ 自治研総括運動を綱領づくり運動へ ○ シリーズ特集 革新自治体再生への提言 革新自治体の成果と克服すべき課題 ○ 資料 自治体改革の基本認識(自治労北海道本部「自治体改革闘争綱領作成のため」より) ○ 忙中一筆 憲法の積極的実現を ○ 本 都市経営論 ○ 散射韻 情報独占の壁に風穴を ○ 亜寒帯 ▼ピカピカ自治労御殿▼ポーランドと韓国と▼私が選んだ、ベストテン▼新たな“実験”を ○ 北海道の動き <1980・10・1～31> 	宇佐美福生 渡辺鋭気 山内敏雄 照屋 章 丸谷金保 清水忠行